

ぶんと通信

第46号

2006年6月15日発行
(財)伊賀市文化都市協会

阿山のふるさと資料館を訪ねて
「ふるさと資料館」を訪ねて

阿山の「ふるさと資料館」には、伊賀盆地が湖沼だった頃、生息していたステゴドン象のキバをはじめ、現代社会に伝わる祭礼や生活様式まで、おびただしい数の歴史的・文化的資料が収められ、陳列されている。

ていねいに集められたひとつひとつの文献・資料には心を惹かれる。たとえば、古墳が円徳院、波敷野、音羽、大江、馬場などから多く発見されていること、東大寺鎮玉滝袖のこと、中世の城館のこと、藤林長門守、服部半蔵、百地三太夫ら伊賀流忍者のこと、特に忍術の流儀を大成した「萬川集海」には、興味をそえられる。さらに伊賀の民家を縮小した模型、と言っても昭和四十年までの萱葺き民家の内部を復元していて、実に懐かしい。また、県下最初の国立第八十三銀行設立の経緯が記されている。明治十一年十一月、設立の中心は、当時の湯舟村の資産家服部甚蔵康盛氏らであった。その頃、伊賀地方に九〇行の銀行ができたが、それらが短期間の経済急変とともに合併していった。時代は変わっても、最近の大型金融機関の合併と相似していることも痛感した。見過ごせないのは、茶の湯の世界の興隆とともに発展してきた陶芸伊賀焼であり、その歴史の変遷と今日的状況も教えてくれる。

この資料館は、阿山の丘陵地から信楽高原に通じる緑豊かな「奥伊賀」にあつて、「阿山の歴史文化がぜんぶわかる」というキャッチフレーズそのままに資料収集の幅の広さが印象的だ。

広大なふるさとの森公園には、豊かな自然環境の中に、五棟のコテージと二棟のログハウスが立ち並ぶ。美しく整備された芝生、野外ステージ、水を身近に感じられる噴水や池などもあつて、広大な敷地全体が資料館とともに様々な世代の老若男女にも利用価値が高い。輝く木々の緑と鳥の鳴き声と色鮮やかに咲く草花につつまれて、ふるさとの歴史文化を振り返り、ふるさとの将来についても、じっくり思い巡らされることをおすすめしたい。

(広報事業委員 西岡時彦)

BUNTO チケット情報

ANRI CONCERT TOUR '05-'06
~Vol.3 Sol Summer Live~



7/22(土)

開演 18:30

1階 6,000円
2階 5,000円
(全席指定)

伊賀市文化会館

劇団四季
ミュージカル
「コーラライン」



「撮影:下坂敦俊/05-'06京都公演より」

7/29(土)

開演 18:30

S席(1階) 8,400円
A席(2階) 6,300円
(全席指定)

伊賀市文化会館

劇団フジ
ミュージカル
「三銃士」



「撮影:下坂敦俊/05-'06京都公演より」

8/5(土)

開演 13:30

一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)

ふるさと会館いが

しましろう
ふしぎなもりのものがたり



©Benesse Corporation/しましろう

9/16(土)

開演 ①12:30
②15:30

1,500円(全席指定)

伊賀市文化会館

紫陽花に囲まれてジャズを
楽しむ昼下がり in 崇廣堂

6/25(日)

開演 14:30

一般 500円
SaMaZama Club会員 450円
(参観料含む)

史跡旧崇廣堂 講堂

宝くじオータム・コンサート
三枝成彰・羽田健太郎の
おしゃべり音楽館

10/9(月・祝)

開演 18:00

前売 一般 2500円
高校生以下 1500円
当日 一般 3000円
高校生以下 2000円

伊賀市文化会館

押尾コータロー

5月13日(土)伊賀市文化会館にて「押尾コータローアコースティックギターコンサート2006」が開催されました。本番前に押尾さんにお話を伺いました。

Q:大阪ご出身ということですが、伊賀についてご存じでしたか。
A:近くなので知ってましたが、来るのは初めて。楽しみにしていました。いろんなアーティストの方が来られてるみたいで、(ぶんと通信のバックナンバーをご覧になりながら)こんなふうに音楽で賑わってる街で演奏できることは嬉しいです。

Q:アルバム「Panorama」で人生は旅そのものと綴られています。伊賀で生まれた俳聖・松尾芭蕉と相通じるものがありますが、コータローさんの旅について、少しお話を聞かせてください。

A:言葉が通じないところを旅してもギター一本あれば心を通わせることが出来るんです。

出会った人や景色、思い出を曲にしたりもします。曲作りは旅をしながらではなく後で思い出しながら作る事が多いです。

ギターの製作者を訪ねた旅もありました。18歳の時に初めて神戸の代理店で買ったグレーベンのギターは今も使っているんですが、いつしかこのギターを作ってる人に会いたいと思いはじめ、一昨年の秋、彼の住むオレゴン州ポートランドに行って「あなたの作ったギターをこれだけ愛して使っています。」と伝えてきました。

Q:モントルー・ジャズフェスティバルに3年連続出演されていますが会場はどんな雰囲気ですか?またモントルーに対する印象は?

A:初めて行った年はまわりの出演者がとてもすごい人ばかりで緊張しまくってました。でも、モントルーに来る人たちは演奏者

が有名か無名かなんて関係なしに演奏を聴こうとしてくれる。そして、押尾のソロライブをもう一度聴きたい、どこへ行けば聴けるんだというファンが出来た。次に出演したときには五時間ほど車をぶっ飛ばしてコータローを聴きに来たんだという人もいた。結構リズムのはっきりしたブルースが好きなので、中にはギター一本の演奏で踊り出す人もいるくらい乗りがいいですね。

Q:様々な可能性にチャレンジされることと思いますが、今後の活動の方向性あるいは目標とされる事があれば教えてください。

A:簡単なことではないと思うんですが「今のままあり続ける」ということ。今、僕の演奏を聴いてくれる少年少女が大人になったある日、CDショップで押尾コータローのCDを目にした時に、昔と変わらないで頑張っているんだなと感じてもらえるような、そんなふうに変わずに続けていきたい。

良いものを作るために、いつも命がけでがんばっています。アコースティックギターのソロ演奏という先入観を取り払うようなコンサートを繰りひろげていきます。楽しみにしててください。

ひとつひとつの質問に丁寧に、またフレンドリーにお答えいただきました。言葉の端々にギターに対する愛情と音楽に対する情熱があふれていました。彼が今のままあり続けることで日本のミュージックシーンが変わっていくような気がします。当日の文化会館は幅広い年代の方々が客席が埋められていました。

(広報事業委員 菊野善久)



楽屋インスピ

南こうせつ

5月20日(土)伊賀市文化会館にて「南こうせつコンサート」が開催されました。本番前に南さんにお話を伺いました。

Q:過去に伊賀に来られたことがありますか?又、第一印象はいかがでしたか?

A:たぶん30年程まえだったかなあ、縦帳のあるホールで本田路津子さんとジョイントコンサートをした記憶があります。忍者で有名な町でしたね。緑が多いですね、私自身も九州の田舎に家があり、落ち着いた暮らしをしたいのですが……

Q:先日テレビでお話されていましたが、大ヒット曲「神田川」を一時期歌われなかったそうですが、再び歌われるようになった心境をお聞かせください。

A:「神田川」がヒットすぎて、そのイメージから抜け出したかったのです。「かぐや姫」は色々な曲を歌っていたのですから。今はもう自然体に歌っていますよ、全部含めて「南こうせつ」ですからね。

Q:1999年のNHK紅白歌合戦で「かぐや姫」を再結成されコンサートツアーも大成功されたそうですが、今後「かぐや姫」の活動はいかがですか?

A:昨年の8月6日被爆60年特別コンサート「ヒロシマ60」で



森山良子さんと行ったのが最後の「かぐや姫」のステージと思っていましたが、昨年、吉田拓郎からもう一度「つま恋」やらないかと誘いがありました。1975年に6万人を集めた伝説のコンサートを今年9月にもう一度やりたいと彼の口から出たのにはワケがあります。数年前、大きな病気に侵され人生観が彼の中で変わったのではないのでしょうか、たぶんそれが今回のきっかけになったのでは……あの時はオールナイトでしたが、今回は8時間くらいになりますよ、なにせ僕たちもお客さんも30年たって早寝早起きですからね(笑)

Q:最後にこうせつさんの歌の多くは団塊世代が愛したものが多く、今日のコンサートも多くの人達が来られています。こうせつさんと同世代のこの人達にメッセージをお願いいたします。

A:多くのこの世代の人たちがこれから退職されると思います。GDPを世界第二位に押し上げたこの世代はまだまだ社会に貢献できるはずですよ。趣味や遊びも楽しいですが夢を失わないでほしい、人が夢を描かなくなった時、一番心に響くのが音楽だと思います。僕たちも同世代としてまだまだいい音楽を提供していくつもりですから。

振り返れば30年前僕たちもギターを持って「かぐや姫」をコピーしていました。まさに彼らは僕たちにとって青春そのものだったのです。30年たっても輝きを失わない彼の魅力に元気をもらいました、人生に定年はないのですから。

(広報事業委員 森正美)

楽屋のマイク

第26回 新人演奏会 in いが

4月29日(祝)伊賀市文化会館にて「第26回新人演奏会inいが」が開催されました。音楽関係の大学などで学んできたフレッシュなアーティストの皆さんが日頃の練習の成果を発揮し、ピアノやコントラバスの楽器の演奏と美しい歌声を披露しました。出演者13名の中から、伊賀出身者の4名の方に一言コメントをいただきました。(五十音順)

オオガ マリコ

大賀麻紗子 (ピアノ) 名張市
名張桔梗丘高校・武庫川女子大学 卒業



たくさんの人達の応援を支えに、今まで音楽を学んできました。その成果を自分の地元で発表できることができ、本当に嬉しく思います。これから頑張っていきたいと思います。

カワバタ ハルカ

川端 春香 (ピアノ) 名張市
上野高校・大阪教育大学 卒業



生まれ育ったこの伊賀で、このような機会をいただき本当に嬉しく思います。お世話になったたくさんの方々に感謝し、これからも音楽を勉強していきたいと思っています。

キクワ ジュンコ

菊輪 洵香 (ピアノ) 伊賀市
三重高校・武蔵野音楽大学 卒業



演奏会に出演させて頂きありがとうございました。小さい頃からお世話になった先生方や皆様に心から感謝しています。これからも音楽を続けていきたいと思っています。

ヨネハラ カスミ

米原 香澄 (ピアノ) 名張市
上野高校・大阪教育大学 卒業



これまで支えてくださった多くの方々に感謝し、これからも音楽のすばらしさを伝えていきたいと思っています。演奏会に出演させて頂きありがとうございました。

ホールスタッフインタビュー

No.1 青山ホール

Q.伊賀市になってからのホール利用はいかがですか。



利用料金や利用時間区分の改正などで、お客様が戸惑われているように感じることがある。催し物時以外では、地域の方が余り来てくれないので寂しい。しかし、

4月から青山の体育施設の受付をホール事務所でしているが、こちらの利用者は増加している。

4月から新スタッフで再スタートした「ぶんと」ホール職員に、意気込みなどインタビューしました。

Q.今後どのように運営をしていきたいか。

催し物以外、お客様が少ないのが現状なので、子供達が気軽に入れるような身近な会館にして行きたい。

※メインとしては、ピアノの需要が多く若い人のクラシック演奏などで使われている。スタインウェイのピアノを2台合わせて置いてあるのは青山ホールだけ。観客席が移動し収納され1枚の壁になり、開いた所でダンスなど踊ったり出来るようになっている。是非、ご利用下さい。とのことでした。

(広報事業委員 松永啓子 重藤憲史)

ゼロから始める舞台音響・照明ワークショップ受講者募集!



舞台製作の基礎から実践までをプロから学ぶワークショップです。わかり易く丁寧に、実際に器具に触れて体験してみませんか?演劇や音楽活動をしている人には必見!未経験の人でも大歓迎です。平成

19年1月27日には、ワークショップの成果を発表するJAZZコンサートを開催します。

舞台を作り出す楽しさを体験してみませんか?



応募要項

- 応募資格・高校生以上(但し未成年者は保護者の署名・押印が必要です。)、男女は問いません。全ての受講日に参加できる方。やる気のある方。(受講日については、下記までお問合せください。)
- 会場・ふるさと会館いが
- 受講料・6,000円
- 受付期間・平成18年7月1日(土)~9月27日(水)
(定員になり次第締め切ります。)
- 募集定員・音響10名、照明10名
- 応募方法・官製ハガキ(封書)に、住所・氏名・年齢・生年月日・電話番号・職業(学生の場合は学校名と学年)・受講コースを明記
- 応募先・〒519-1412 三重県伊賀市下柘植6243番地
ふるさと会館いが「舞台・照明ワークショップ」係

詳細のお問い合わせ先

ふるさと会館いが ☎0595-45-9125(月曜日休館)

伊賀のええもん見つけた

伊賀は伊賀焼で有名ですよ。伊賀の土もまた有名なのはご存知でしたか。

焼き物をしている方なら当然でしょうけど。肉では伊賀肉、米では伊賀米のように焼き物用の粘土では伊賀粘土、というブランドになっているのです。

伊賀地方は約400~300万年前に古琵琶湖の底にあり、その時代の湖の底に堆積したものが、現在粘土として採れます。伊賀粘土層では風化した花崗岩から石英、長石粒を含む蛙目(がいろめ)粘土、炭化した植物片を含む木節(きぶし)粘土などが多く採れます。その粘土は非常に耐火度が高く、江戸時代より直火用の土鍋、土瓶など多く作られてきました。

「たかが土、されど土。」

伊賀の粘土は、信楽の粘土よりも耐火性に富んでいて焼き物としては焼きにくいそうです。それが、伊賀焼特有の味を生み出しているのかも知れません。



伊賀でこの粘土が採れていなかったら、伊賀焼という伝統産業も生まれていなかったのかな。

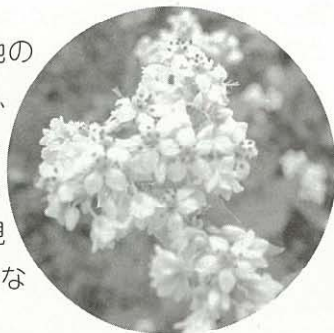
【取材協力 みね陶土 峰興徳氏】
(広報事業委員 奥 真也)

文化あれこれ春夏秋冬



伊賀のそばは、太めで黒っぽい。ズズッとすすると、風が運んでくる山里の香りがする。濃い味だがそれでいて繊細な味わいがある。伊賀の香りと味がするのである。

そばは、その土地の風土と気候に影響され、独自の香りと風味を持ち合わせる。つまりは、その土地を表現する食文化のひとつなのである。



特集 伊賀の食文化「そば」編

おいしさを決めるのは「原料」と「水」そして、作り手の「思い」にある。そばの産地と言われるところは「水」がうまい。伊賀は「水」がうまい地域である。ならばもっとそばの生産が盛んでもいいのではと思う。



今は多くはない作り手たちが、村おこしとしてそばを大切に育てている。「思い」は着実に実を結んでいるようだ。早熟の夏そばと晩生の秋そば。そばは真っ白な花が咲く。その風景を見られるのはもう少し先だが、伊賀の新しい食文化として早く根付いて欲しいものだ。

(広報事業委員 辻村勝則)
(取材協力・写真提供 伊賀玉瀧 玉の腰手房 徳村治氏)

伊賀市文化会館開館15周年

(助)伊賀市文化都市協会10周年

今年、伊賀市文化会館が開館してから15周年、伊賀市文化都市協会が設立されて10周年になります。秋に記念事業を計画していますが、伊賀市の文化がより一層薫るよう関係者一同邁進していきたいと考えています。(詳細は8月15日号で掲載します。)

こだわり人生乾杯

「城下町と町家と」

滝井利彰

気が付いてみると、本業よりもこちらにさいている時間の方が多いようだ。本業は建築の設計。世の中の趨勢が、この方の仕事の量は一向に増えない。その分、夜、イベントなどの企画について仲間と相談をしているのが楽しい。「伊賀上野町家みらいセンター」は正式に立ち上がって1年余り。現在は上野幸坂町の古い町家をお借りして、活動の拠点にしている。メンバーは民間の個人だけでなく企業のメンバーもいる。中でも嬉しいのは、市や県もバックアップしてくれて、市の職員の方が熱心に動いてくれることだ。広い意味では、城下町に残る古い町家の魅力を紹介しながら、その利活用によって、

人づくりと町の活性化を図るという仕掛けである。どこの町でも同じ課題を抱えているであろうが、私は、「伊賀上野流」のあり方にこだわりたい、まだその姿は見えていないが。学生時代は建築の歴史を学びながら、実際は再開発などの壊し屋の仕事をしていた私が、故郷に戻り、ここで骨を埋めるつもりで係わることのできるせめてもの活動と考えている。



(伊賀市上野紺屋町 在住)



多情

多感

No.8

見知らぬ人の手紙

北泉優子

三十数年のことである。「忍ぶ糸」で作家の仲間入りをさせてもらったわたしは、

第二作となる「忍ぶ橋」を上梓した。発売と同時にテレビ化が決まり、当時の大人気スター、大原麗子、三浦友和、津川雅彦と、これ以上はない適役のキャストイングとなった。少し気恥ずかしいが、拙作は、物語が面白いものだった。当然、話題作となり、テレビは毎回高視聴率をかせいだ。おかげで、本も、忍ぶ糸同様ベストセラーになった。

「こんなに順調でいいの？」一抹の不安を抱きつつも、他方で、作家なんて楽な商売だなあと、高を括っていた。人間観や感性は、わたしそのものだが、ストーリーは作り物であり、自分の魂を血と涙でえぐり出したものではない。こんな話なら、百や二百書ける。通用するまで続けてみるか、と、かなり物を書くという仕事を見くびり、傲慢な気持ちで軽く考えていた。

そんな時である。出版社経由で、ぶ厚い封書が届いた。匿名のファンレターだった。

——せんせい わたしが わるかったよめは だいじにします——

五百円大の文字が左右に踊っていた。ふざけているのかと早合点したが、ほかに便箋十枚のお嫁さんからの手紙が同封されていて、姑に当たる人が盲目だと分かった。

姑は五十半ばで両眼失明したという。息子を溺愛していた彼女は、息子が結婚するや、たちまち鬼姑となって、嫁をいびり通したらしい。失明以後は、さらにエスカレートして、そのひどさは評判だったとか。中途失明した姑の心情を察し、耐えに耐えてきた嫁は、それでも幾度も離婚を考えた。が、夫の優しさにすがって辛抱し、姑には心から尽くしてきた。

ある日、嫁は、夫から、母を殺す気かと叱責された。食物に農薬を入れたと姑が嘘の告げ口をしたからだ。夫も味方ではない。思いつめた嫁は、死を覚悟して、家を出た。電車で飛び込もうと、踏み切りぎわを徘徊したものの、なかなか死ねなかった。と、雨が降ってきた。雨が止んだら死のう。決めた彼女は、雨やどりに、一軒の本屋に入った。そこで手にしたのが、拙著「忍ぶ橋」であった。拙著は、猛烈な嫁いびりに耐え抜く女を、年下の青年と

の悲恋にからませて描いた作品だ。隣の喫茶店で一気に読んだ嫁は、「死ぬのは、いつでもできる。その前に、この本を姑に読んで聞かせよう。それでも、心変わりしてくれなければ、その時こそ、死ぬばい……」と決心した。

夜半に帰宅した嫁をするどくなじった姑は、彼女が本を読み出すと、じつと聴き入り、トイレまで同行させて、続きを促したそう。読み終わった時は、夜が明けて、太陽が出ていたらしい。

——私達二人は、抱き合って号泣しました。私は先生に命を助けていただきました。「忍ぶ橋」の本で、幸せになりました。ありがとうございます——

手紙を読んで、わたしも泣いた。と同時に、頭をガンと殴られた気がした。自分の書いた一行、一頁が、他人の命を救う力を持っていたのか。作家とは、そういう重い職業だったのか……。わたしの心の傲慢は一瞬に消えた。

棺に入れてもらうつもりで大切にしていたこの手紙は、伊賀へ戻る引越しの折、残念だが紛失してしまった。だが、文面は今も記憶している。この仕事を選んだ重さとともに……

その重さをかみしめ、目下、悪戦苦闘しながら、芝居の台本を書いている。

(作家・市内在住)

第11回 青山ホール
ピアノデュオコンサート
～出演者募集～

受付中

2台のピアノを使って気軽に音楽に接し、
日頃の成果を披露してみませんか？

■開催日時 平成18年8月26日(土) 午後2時開演予定

■応募要領

- 内 容 2台のピアノによる4手(8手可)のコンサート
(1台でのデュオ可)
- 資 格 2人以上を1組として、年齢は問いません
- 曲 目 自由
(ただし、演奏曲は受付の先着を優先とします)
- 演奏時間 15分程度
- 出演者数 6組を予定
- 参加料 一人10,000円
(ただし、1組4人又は1台
2人の場合は1人5,000円)
また、参加者にはチケット1人20枚お渡しします。
(ただし、1組4人又は1台2人の場合は1人10枚)



■申込方法 出演申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXで
青山ホールまでお申込みください。
申込書は各ホールに置いてあります。

紫陽花に囲まれて **好評発売中**
ジャズを楽しむ昼下がり
in 崇廣堂

ドイツ在住のバスフルート奏者・天田透氏の一時帰国に合わせ、伊賀在住のピアニスト風呂矢早織氏との初顔合わせ！
バスフルートは滅多にお目にかかれない稀少な楽器です。紫陽花に囲まれながら、楽器の音色と共にジャズの即興演奏の楽しさをご堪能ください。

■日 時 平成18年6月25日(日) 14:30～16:00

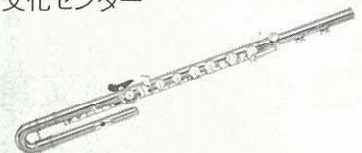
■場 所 史跡旧崇廣堂 講堂

■出演者 バスフルート 天田 透
(ドイツ国立トロッシゲン音楽大学講師)
キーボード 風呂矢早織(ピアニスト・伊賀在住)

■入場料 一般 500円・SaMaZaMa Club 会員 450円
(参観料含む)

■チケット発売所

史跡旧崇廣堂、伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、
青山ホール、あやま文化センター



史跡旧崇廣堂特別講座 **参加者募集**
「古文書教室・漢文学教室」

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、「古文書学・漢文学」
を学んでみませんか。誰でも学習いただける講座ですので、
ぜひご参加下さい。

古文書教室(4回講座)

【テーマ】「藤堂藩と天神祭礼―郷土の史料を読む」
【開催日時】第1回 7月 2日(日) 第2回 7月 9日(日)
第3回 7月23日(日) 第4回 7月30日(日)
講義時間 13:30～15:00

【講 師】伊賀市文化財保護指導委員 増田 雄氏
【参加費】800円(4回分を初回に徴収します。)
【定 員】40名
【申込受付】6月20日～6月30日まで電話にて受付

漢文学教室(4回講座)

【テーマ】「^{かんびし}韓非子と^{ぼくし}墨子」
【開催日時】第1回 8月 5日(土) 第2回 8月19日(土)
第3回 9月 2日(土) 第4回 9月16日(土)
講義時間 13:30～15:00

【講 師】皇學館大学名誉教授 野村 茂夫氏
【参加費】800円(4回分を初回に徴収します。)
【定 員】40名
【申込受付】7月3日～7月21日まで電話にて受付

■お問合せ・お申込み

(財)伊賀市文化都市協会事務局 電話22-0511

特別企画展 上野歴史民俗資料館

ワニがいた！ゾウもいた！
～400万年前の伊賀～



伊賀盆地で発掘された化石などをもとに、400万年前の伊賀
に「ワニ」や「ゾウ」がいたことを紹介します。また、夏休み特
別企画「三重に恐竜がいたころ、伊賀にワニやゾウがいたころ…」
と題する講演会も開催しますので、ご家族やお友達と一緒に
伊賀の古代ロマンをご探索ください。

■展示期間 7月18日(火)～9月18日(月)
開館時間 午前9時～午後4時30分
■場 所 上野歴史民俗資料館 2階展示室
■入 館 料 入館料のみ 大人200円
高・大学生150円 小・中学生100円
■協 力 伊賀盆地化石研究会

—夏休み特別講演会—

■日 時 7月30日(日) 午前10時00分～
■テ ー マ 「三重に恐竜がいたころ、
伊賀にワニやゾウがいたころ…」
■講 師 教育学修士 谷本 正浩氏
伊賀盆地化石研究会 北田 稔氏
■受 講 料 入館料のみ

■お問合せ・お申込み

(財)伊賀市文化都市協会事務局 電話22-0511

一般開放 上野運動公園野球場
集まれ!グラウンドゴルフ仲間!!

緑広がる芝生の上でグラウンドゴルフをしてみませんか。体力づくり・健康促進・ふれあいの場として、気軽にご参加ください。

初心者の方も、熟練者の方も、子供からお年寄りまで体を動かし、おしゃべりをしながら楽しみましょう!!

- 日時 7月 12・26日
- 8月 9・23日
- 9月 6・20日
- 10月 11・25日
- 午前10時～正午

- 会場 上野運動公園野球場
- 参加費 1人 1回 100円
- 受付 予約なし 当日申込受付

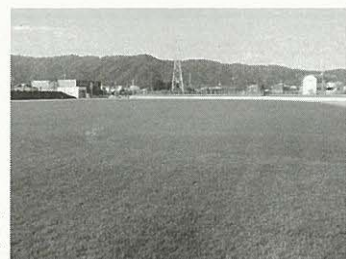


～大会予定～ 練習の成果を発揮してみませんか!?

11月29日 競技場 午前9時～午後1時

「集まれ!グラウンドゴルフ仲間BUNTO杯」

- 参加費 1人 300円
- 受付 予約制
電話にて受付します
- 予約受付期間
10月1日～11月20日
- お問合せ・お申込み
(財)伊賀市文化都市協会
☎0595-22-0511まで



伊賀びと川柳

一着は ほしい気もする 忍者服

愛犬も 忍者姿に 照れた顔

さるびのへ 入れてやりたい 山の猿

井ノ上擲男

100選の 名城伊賀の 上野城

賀柳

辿りたし 翁の歩いた 跡だけを

芭蕉さん お供えさせてよ 夢の中

井上 英正

ドロンドロン 皆で変身 犬までも

三年生

伊賀米を 旅の鞆に 入れて出る

珍客を 伊賀組紐で 繋いどく

切札の 土産伊賀牛 提げていく

梅田とほる

★印の方に好評発売中のエッセイ集「辛口あま酒」をプレゼントします。次号の締切は7月15日です。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。今回は残念ながら★印はありません。

伊賀市文化都市協会の
ホームページを更新しました。

事業の案内や各施設の情報発信しますので、アクセスして下さい。

<http://www.bunto.com>



ここにはNEWSが表示されます。

イベント情報
 満載です。



ここに施設からのお知らせが入ります。

◆◆ アルバイト募集 ◆◆

- ◎業務内容 劇団四季ミュージカル「コーラスライン」の舞台の搬入・搬出・設営
- ◎勤務日 平成18年7月29日(土)
- ◎勤務時間 8:45集合
9:00～24:00まで(休憩あり・食事支給)
- ◎勤務場所 伊賀市西明寺3240-2
伊賀市文化会館
- ◎条件 健康で体力のある方

- ◎勤務内容 プール監視員
- ◎勤務場所及び勤務予定期間
 - ・上野運動公園プール (7/18～8/25)
 - ・阿山B&G海洋センター (～9月末)
 - ・大山田B&G海洋センター (～9月末)
- ◎勤務時間
 - ・上野運動公園プール 9:00～16:30
 - ・阿山・大山田B&G ① 8:45～17:15
② 17:15～22:00
- ◎条件 健康で泳げること

詳細については、下記までお問合せください。いずれも先着順に受付けます。

◇お問合せ先
 (財)伊賀市文化都市協会 TEL0595-22-0511

ホール・ドーム **これから** 情報

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/10(土) 13:00~	支部定期大会	関係者	三重県教職員組合伊賀高支部
6/11(日) 10:00~	歌謡フェスティバル	無料	カラオケ喫茶歌恋 ☎52-1848 (寺岡)
6/18(日) 12:30~	ポーコ・ア・ポーコ コンサート	無料	堀内聡子 ☎68-5323
6/24(土) 14:00~ 19:00~	伊賀あおやまシネマ倶楽部 第41回 映画鑑賞会 「博士の愛した数式」	一般 1,000円 小・中学生 500円	伊賀あおやまシネマ倶楽部 後援: 伊賀市文化都市協会
6/25(日) 10:00~	第65回タッチ・ザ・スタインウェイ	関係者	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109
7/1(土) 13:00~ 15:00~	青山同和教育推進協議会 総会 記念講演/奈良県市町村人権・同和問題 啓発本部連絡協議会事務局長 成田 進	関係者 無料	青山同和教育推進協議会
7/2(日) 13:30~	三教組伊賀支部女性部 定期総会	関係者	三教組伊賀支部女性部 ☎24-6820 (山口)
7/9(日) 13:00~	ピアノ発表会	無料	乾・延山 ☎65-8055
7/14(金) 10:00~	青山老人クラブ連合会 福祉大会	関係者	青山老人クラブ連合会 伊賀市社会福祉協議会青山支所 ☎52-2999
7/15(土) 15:00~	ピアノ発表会	無料	大崎麻理子

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/17(土) 12:30~	NHKのど自慢 (予選)	無料 (整理券不要)	伊賀市企画調整課 ☎22-9621
6/18(日) 11:45~	NHKのど自慢	要整理券	
6/25(日) 15:15~	上野同和教育研究協議会 定期総会及び公演会	無料	上野同和教育研究協議会 ☎26-7677
7/2(日) 13:00~	ひまわりコンサート 太陽に両手ひろげて17th	参加協力券 大人 1,200円 小中高 500円 (当日200円増し)	上野ひまわり作業所 ☎39-1133
7/8(土) 13:30~	人権フェスティバル 2006	無料	伊賀市人権政策課 ☎22-9631
7/22(土) 18:30~	ANRI CONCERT	1F 6,000円 2F 5,000円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/23(日) 13:00~	三響楽器 ピアノ・ドリマトーン発表会	無料	三響楽器 ☎059-225-3926
7/29(土) 18:30~	劇団四季ミュージカル 「コーラスライン」	1F 8,400円 2F 6,300円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
6/10(土) 18:30~	Full・Come・Live Vol.20 チャリティコンサート	小ホール	無料	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125
6/25(日) 14:00~	第13回 あい・愛コンサート	大ホール	前売 500円 当日 700円	あい・愛コンサート実行委員会 ☎45-5399
7/2(日) 9:30~	お客様親睦発表会& 夏木綾子ショー	大ホール	前売1,000円 当日1,500円	カラオケランドほんぼこ ☎23-3714
8/5(土) 13:30~	劇団フジミュージカル 「三銃士」	大ホール	一般1,000円 高校生以下 500円 当日同料金	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/18(日) 13:00~	エレクトーンステージ& エレクトーンソロコンサート	無料	(株)さわ楽器 ☎23-8080

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
6/18(日) 8:30~	平成18年度 伊賀市消防団員初任者教育訓練	第1、第2	伊賀市消防本部消防救急課 ☎24-9115
6/25(日) 8:30~	全国クラブカップ選手権大会 三重県予選	第1、第2	三重県クラブバレーボール連盟 ☎21-4390
7/2(日) 9:00~	中瀬地区ソフトバレーボール大会	第1	中瀬地区市民センター ☎21-3239
7/9(日) 8:30~	マックスバリュウ中部カップ 第16回全日本ドッチボール選手権 三重県大会マッチアップドボンカレカップ県予選	第1	三重県ドッチボール協会 ☎0593-78-3920
7/23(日) 9:00~	第31回三重県少年剣道練成大会	第1	伊賀剣道連盟事務局 ☎23-9068
7/28(金) 7/29(土) 9:00~	第53回三重県中学校柔道大会	第1	三重県中学校体育連盟 ☎63-0247
7/30(日) 8:30~	伊賀市ソフトバレーボール市長杯	第2	伊賀市ソフトバレーボール連盟 ☎090-2347-1091
7/31(月) 8:30~	三重県中学校バスケットボール大会	第1	三重県中学校体育連盟 ☎63-0247
8/7(月) 8/8(火) 9:00~	第28回東海中学校柔道大会	第1	東海中学校体育連盟 ☎21-0335
8/12(土) 9:00~	伊賀市スポーツ少年団スポーツ大会	第1、第2	伊賀市教育委員会生涯学習課 ☎22-9680

「辛口あま酒」好評発売中 1冊 1,000円

当紙面(創刊号~第38号)の名物連載、「辛口あま酒」が本になりました。
北泉優子さんの初エッセイ集です。

取扱: 伊賀市文化会館
井筒屋書店(本店・あかもん店)
岡森書店(本店・白鳳店)
宮脇書店上野店
ブックスアルデ(名張本店・近鉄店・リバーナ店)
長谷川堂書店

●編集部だより●

市町村合併に伴う各地文化組織の見直しや指定管理者制度導入を機に、伊賀市全体を視野に入れ、さまざまな文化情報をお届け

各ホールの受付時間、休館日のご案内

4月より各ホールの受付時間、休館日の一部を次のように変更しています。

◇受付時間
午前9時から午後5時まで ⇨ 午前9時から午後7時まで
休館日を除き毎日午後7時まで受付を行っています。
施設の受付、チケットの購入等でご利用いただけますので、お仕事帰りにでもお立ち寄り下さい。

◇休館日
各ホール共通 年末年始(12/29~1/3)
・伊賀市文化会館 年末年始のみ
・ふるさと会館いが 毎月曜日、第二火曜日 ⇨ 毎月曜日
・青山ホール 毎水・木曜日 ⇨ 毎水曜日
・あやま文化センター 毎月曜日
※休館日が休日に当たるときは、翌日に休館日を振り替えることがあります。

お客様のニーズにお答えするため、休館日を少なくして運営していますので、どうぞご利用下さい。

できるようにしようと、今号から8ページに増ページいたしました。予算少なく、1色(表紙面は2色)刷りですが、その分内容を充実させることをモットーに広報事業委員会一同頑張っています。ご愛読下さい。ご意見、ご希望をお寄せ下さい。

お問い合わせ (財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
Eメール samazama@bunto.com

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2
・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>
・青山ホール <http://ict.ne.jp/~bunto/> ・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furuukan/>

ぶんと通信